

◆日程 2015年4月19日(日)

◆メンバー L: 山田夫妻、矢野、

4月19日(日) 天候: 晴れ一時雨

春山集中は直前まで行けるか判らなかったので、直前になって大倉尾根コースに行く山田さんに連絡し参加表明。予定では 7:18 渋沢駅発のバスだったが、1本早いのに乗れそうだったので急いで乗車。大倉バス停はさすがに山開きだけあって登山者で混雑している。

天気予報では午前中は晴れと言っていたが、曇り空の下を山田さんが先頭で出発。まだ芽吹き直後で明るい広葉樹林の緩やかな道を登っていく。観音茶屋はまだ営業前だったが、小屋前には真新しいベンチやトイレができています。

登山口から 1 時間ほどの見晴茶屋を過ぎたところから急斜面の直登となり少々ペースが落ちる。30 分程で急な尾根に登りきり、地図では一本松とある辺りで一本とる。一本松あたりは



やや緩やかでのんびりと歩けたが、すぐに急登となり、階段のような斜面を登り、やや緩やかになったところ駒止茶屋が見える。ここから堀山くらいまでは桜並木となっているが、今年は咲くのが早かったらしく、散りかけている。桜の中にヤマザクラとはやや異なる花が小さくて下を向いているのがあり、なんだろうと思っていたら、あとで雫さんからマメザクラだと教わる。どうやらこのマメザクラ、富士山や箱根周辺に多いらしい。

登り始めてから 2 時間くらいたったところ堀山の家に着き一本取る。休んでいると燃料にするのか直径 15cm、長さ 2m 位の杉の丸太を 2 本ボッカして上ってくる人がいてびっくり。堀山の家からしばらくは、うんざりするようなゴロタの急登になる。天神尾根分岐を過ぎ、1 時間強ひたすら登り、花立山荘の氷の轍が見えてホッとします。ここでやや長めに休み、景色はいいがいつまで続くのかと思うようなガレた登りをゆっくり行く。

山荘を出て 10 分位登ったところ数人集まって写真を撮ったりしていると思ったら、礫の中にポツンと咲く紫っぽい花が見える。オキナグサという花で産毛があたたかそう。

金冷で山田さん夫妻より先行して塔ノ岳に行くことにして、ほかのルートが先に着いてないかと先を急ぎ、11:40 に山頂に到着。山頂は最近の高尾山ほど



ではないが 100 人近く居るのでと思うような大混雑。一通り見たがまだ他のルートの方は来てない模様。とりあえず屋にお汁粉を作る場所を確保しておこうとしているうちに天気が怪しくなりポツポツ雨が降り出してくる。とりあえず合羽を着こんでウロウロしていると山田さん夫婦が 12:00 頃到着。まだ、到着しない日比野 L の表尾根コース、雫 L の丹沢山縦走コース、河野 L の鍋割コースのメンバーを待つうちに本降りになり合羽のズボンもはいて完全防備になる。そうしているうちに日比野さんから木ノ又小屋を出たとのメールが届き、30 分ほどして到着する。天気も悪いので尊仏山荘の奥の部屋で、皆の到着を待ちながら、ビール等を注文して先に飲み始める。

そうしているうちに山荘の入り口の方で雫さんと山中さんが先に到着して飲んでいるのがわかり、河野 L のグループや小林 L のグループも到着し全員そろそろ。外はまだ小雨が降っているので山荘の人に許可を得て奥の食堂でお汁粉を作り始める。

手早くお汁粉を作り、持ち寄ったつまみとともに酒も回っていい気持ちになってくる。1 時間ほどの宴会も終わり、部屋を使わせてもらったお礼を言って山荘を出て、雨の上がった山頂で記念撮影。



帰りは大倉尾根を皆で下り、17:10 に無事に大倉バス停に到着。

CT : 大倉 (7:20) → 見晴茶屋 (一本 8:20) → 駒止茶屋 (9:15) → 堀山の家
(一本 9:35) → 花立山荘 (一本 10:55-11:10) → 金冷シ (11:30) → 塔ノ岳
(11:40-13:50) → 花立山荘 (14:25) → 堀山の家 (15:10) → 駒止茶屋 (15:40)
→ 大倉 (17:10)

(記 : 矢野)